



# ほっと<sup>2</sup>あまがわ

令和2年度 第1号

(通算第24号)

発行：令和2年8月31日

天川地区地域づくり協議会

編集：広報部



新しい生活様式の中で  
「地域づくり」を進める

天川地区地域づくり協議会  
会長 成田 隆憲

本年6月の総会で太田会長からバトンを受けました文京町一丁目の成田です。よろしく願いいたします。

年度の事業計画はコロナショックで深刻な影響を受けてほとんどが「中止」を余儀なくされました。この先も不透明な状況でございます。

コロナ禍の巣ごもりで、普段はあまり意識してないことですが、「地域づくりに必要なものは何だろう」と思うことです。

三大都市圏に半数以上の人口が集まる日本。それ以外の地域はシャッター街の並ぶ中小都市や、人口の半数以上が高齢者という限界集落が広がる風景になっています。しかし自給率40パーセントの食糧生産を担っているのは私たちが暮らす地域です。

幸いこの地域でも、家庭でも職場でもない「第三のフィールド(地域づくり)」における役割と効果に注目が集まっています。私たち天川地区地域づくり協議会も個人のやりたいことと、楽しさが何らかの社会貢献や地域貢献につながるようにしたいと思います。

元より本協議会では、住む場所や働き方、暮らし方も様々な人々が日常的に集まることによって、考え方や立場が異なる人々を結んで繋げることで新たなアイデアを見つけたり、地域の必要な仕事やコミュニティの輪を広げたりするための拠点となることを目指しています。

また、コロナ禍からの回復後に地方の時代が来るという期待感もあるようですが、状況はそう甘くはないと思います。むしろ、社会のスタンダードが変わる時期ですので、「ニューノーマル」と呼ばれる新しい生活様式をどのように編み込むかを愚直に実行することだと思います。

コロナウィルスで私たちの進む方向性はむやみに転換するわけではないはずですが。私たちの地域にもともとある美しい自然や街並み、伝統、文化、コミュニティを宝物と自覚して「地域づくり」を進めたいと思います。

## 第3回 天川探訪

当協議会では、文化講座として3回目となる天川探訪を下記の日程で計画しています。

今年は、広瀬川遊歩道を歩き、旧天川村の寺社、孝頭寺、十六本堰、尾曳稲荷神社、高岑院などを巡る予定です。

☆日時：11月3日(祝)午前9時頃から



・孝頭寺  
松平大和守家の菩提寺。  
松平家藩主の画像や位牌  
があります。

・尾曳稲荷神社  
太田道灌の厩橋城築城伝  
説の赤亀を守護神として  
祭った神社だそうです。



・十六本堰  
広瀬川と端気川を分岐す  
る堰。十六本の丸太杭で作  
られていたことからその  
名が由来したそうです。

・高岑院  
厄除け薬師として知ら  
れている寺院。  
立派な山門があります。



・広瀬川遊歩道